

# TONEAudio

Music.Gear.Style.

No.83 April 2017

## Cut the Cord with B&W's P7 Wireless Phones



Definitive Reviews of New Albums from  
Chris Stapleton, Paul Weller, The  
Whigs, Slowdive, Father  
Aimee Mann, The  
Sho...

2017 Product of the Year 受賞

TONEAudio  
2017 product of the year



米『TONE Audio』誌  
No.83 2017年4月号

## ESOTERIC F-07 特集

ESOTERIC

# ESOTERIC F-07 完成領域へ

## そのエキサイティングな方向性

文：Jeff Dorgay

高品質なインテグレートッドアンプは、今日のオーディオマニアにとって重要な要素と言える。

ESOTERICのようなメーカーの場合、1台5万ドルもするデジタルオーディオ機器を設計する設計チームを起用することができ、さらに優れた生産技術も相まって、7,500ドルのインテグレートッドアンプ F-07は理にかなった選択と言えるだろう。

音を聴く前にまず気づくのは、まるで2万ドルもするコンポがラックに収まっているかのようなその佇まいである。

極めて精巧な金属加工によって造られたボディーやエレガントな操作部、さらに、穏やかなブルーのバックライトがアクセントの表示部など、その全てが高品質であることを物語っており、それを証明するかのように重さは27kgにも達する。



ESOTERIC

XLR

-91.5dB



マニュアルを読んだり仕様をチェックするのに熱心になりすぎたが、試聴のためにまずはQuad 2812スピーカーに接続してみよう。

暖機運転なしでも、この100W+100W(4Ω時では170W+170Wと定格出力でほぼ倍増)のアンプの音は魅力的である。

「Crowded House」の最近のリリースされたアナログ盤「Woodface」を聴いてみると、能率が低いが故にドライブが難しいと言われるQuad製スピーカーを限界までドライブしていることが判る。

#### 豊富な機能

まだ言ってなかったかも知れないが、F-07はデュアルモノMM/MCフォノアンプ(MCは100Ω固定インピーダンス)を内蔵しており、これは先月号で紹介した最新のTechnics SL-1200G(Zu AudioによってモディファイされたDenon DL-103Rカートリッジを装着)と完璧な相性をみせる。さらに、Gold Note Machiavelliカートリッジと組み合わせられるMM部もまた素晴らしい。このF-07には1系統のフォノ入力端子が搭載されているが、フロントパネルからMMとMCを切り替えが可能。Ortofon Cadenza Black MCに交換してもF-07は十分その真価を発揮し、このアンプよりもはるかに高額なターンテーブルとの親和性も高く、全てが計算された設計であることが窺える。

様々なオプションを追加したいデジタルオーディオ派には、リアパネルのアクセサリースロットに別売のDACボードOP-DAC-1を装着可能である。このDSD対応DACボードはわずか1,200ドル。F-07本体と組み合わせても総額9,500ドルで収め

ることができるという。

長大なプレイリストからハイレゾ音源を再生するとF-07が放つパフォーマンスはまさにファーストクラスの世界。CD品質の44.1kHz/16bitの音も同様に磨きがかかったように思える。

例えば「Hall & Oates」の名盤「Abandoned Luncheonette」では、音の全ての要素が余裕を持った素晴らしく繊細なハーモニーを奏でており、これは「John Mayer」の最新アルバム「The Search for Everything」でも同様だ。

最近の安価なDACの性能は10年前なら1万ドルクラスのDACの性能に匹敵するが、このF-07にオプション搭載可能なDACにはこれらの安価なDACにはない滑らかさを備えている。間違いなくこれはワールドクラスのDAC、Grandioso D1のトリクルダウンの成果と言えよう。つまり、大金をはたいて外部DACを買わないのであれば、このオプションのDACボードは非常にお勧めである。

#### 豊富なパワー

F-07の音質は非常に自然で、強力な電源部によって駆動される調和のとれたデュアルモノラルAB/パワーアンプ部は、決して脚色されることのないダイナミックな存在感を創り出す。つまり、F-07は原音にないもので音を飾ったり強調することなく、その「無脚色の音」という点ではBoulder社製アンプを強く思い起こさせてくれる上、非常に手頃な価格でもある。つまり、内蔵DACやフォノアンプ部に限らず、F-07がいかに素晴らしくまとまったアンプであるかを示している。

次に、スピーカーを91.5dB/1Wもの感度を誇るFocal Sopra N°3につなぎ替えて、もっとボリュームを上げてよりダイナミックな音楽を聴いてみると、その底力はよりはっきりとする。

耳をつんざくようなボリュームでメジャーロックやエレクトロダンスミュージックの曲を連続して聴いても、筐体が触れなくなるほど熱くなることはない。

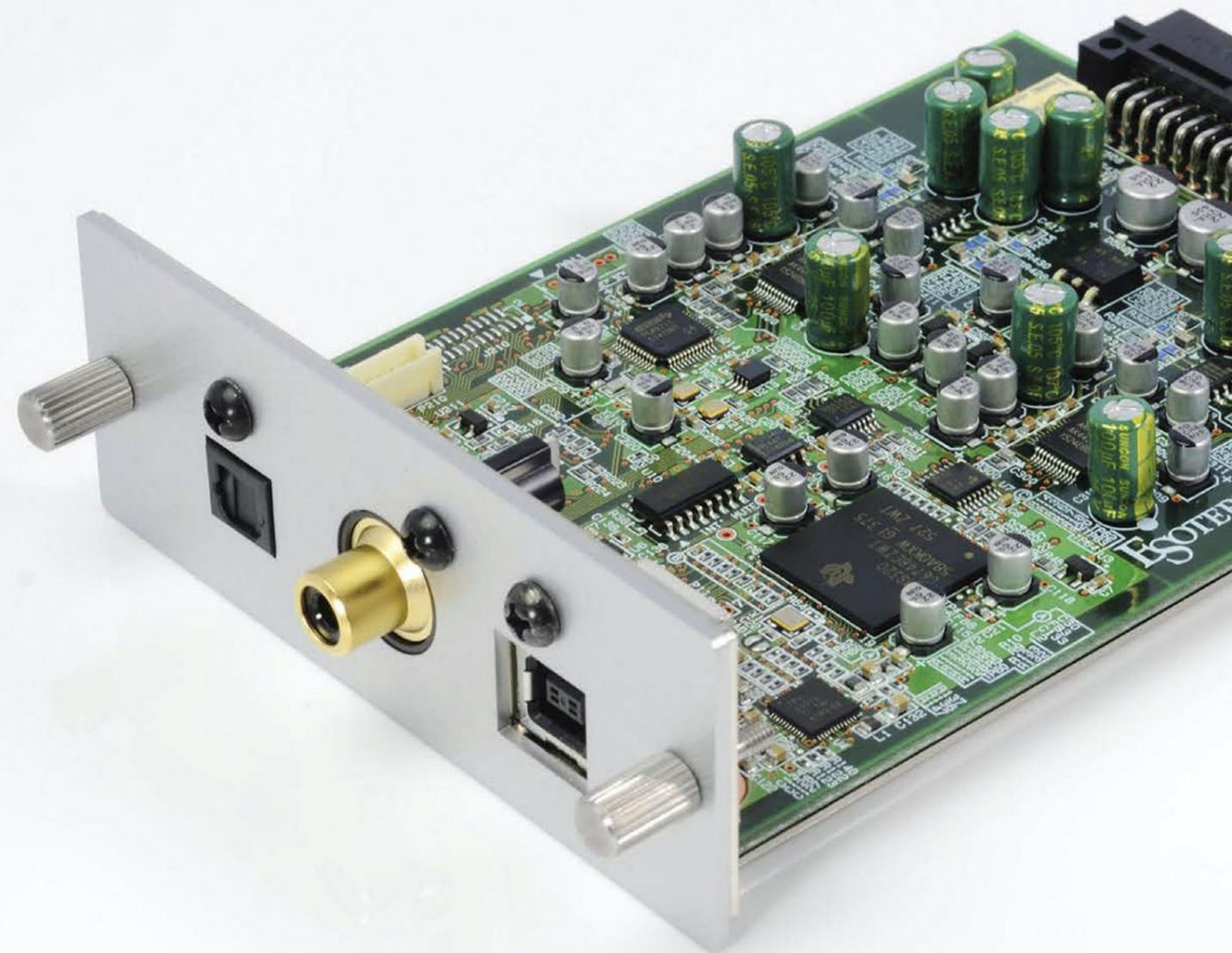
スピーカーを今のMartinLogan Expression ESL 13A やGraham audio LS5/9につなぎ替えても同様のパフォーマンスを発揮してくれ、この100W+100Wのアンプは大広間でなければ十分であると言える。

また、F-07には1系統のプリアンプ出力端子を備えており、より強力なパワーアンプと接続してプリアンプとしても有能である。

さらに、再生する音楽にかかわらずF-07は信じられないほど聴き疲れしない事も特筆すべきであろう。

8~12時間におよぶ試聴テストの後でも、さらにもう1枚レコードを聴くことができるほどと言えば伝わるだろうか？これは私がアンプを褒める時の最高の褒め言葉である。今回の試聴の大部分は内蔵DACとフォノアンプを使用した。結局このDACボードはESOTERICのScott Sefton氏にお持ち帰りいただいて、3万2000ドルもしたお気に入りのDAC、Gryphon Kalliopeと組み合わせることにした。というのも、デジタル処理の性能に関してはこのGryphon社製DACが優れていると言わざるを得ないからだ。

とはいえ、高い次元でバランスのとれた解像度を示すなどF-07は非常に素晴らしいと言える。このF-07用のDACボードはハイエンドオーディオの世界をより素晴らしいものにしてくれる十分な性能を持っている。もしそれでも満足できないならば、デジタル入力を備えてDACとしても使えるESOTERIC K-07X SACDプレーヤーを追加すればいい。



## 聴く人次第で

F-07の優れたオーディオ性能同様、ユーザーインターフェースも非常に秀逸で、日常的に使う機器として非常によくまとまっている。操作ノブはフロントパネル上に整然と配置されており、ひととき大きな入力切替とボリュームノブは判りやすく、その他の操作も行い易い。そして、BASS/TREBLEのトーンコントロールは周波数領域 (BASS 63Hz、TREBLE 14kHz、各±12dBの範囲で調整可) の対極側に緩やかに近づけるのみで非常に素晴らしい効果を発揮。マスタリングが十分でない音源には非常に効果的だろう。

原音主義者にとっては邪道のトーンコントロールではあるが、私はこのF-07で楽しめた。

リアパネルには4系統のシングルエンド入力 (RCA端子)と1系統のバランスライン入力 (XLR端子)を備え、全ての入出力端子がバランスよく配置されている。内蔵フォノアンプに加え、DACを内蔵できることを考慮すると、既にお持ちかも知れないフォノアンプやDACにとって代わるであろう。さらに、日本製アンプの素晴らしい伝統として2系統のスピーカー出力も備えている点にも触れておきたい。

最後ではあるが、パーソナルなオーディオの楽しみ方であるヘッドホンリスニングについても手を抜いていない。Oppo、Audezem、B & W、Gradoといった標準的なヘッドホンで試してみると、F-07のヘッドホンアンプ部は決しておまけの回路ではないことが判る。低音は素晴らしく、特に「Prince」の「Here on Earth」でみせる力強いベースラインはまさに感動もの。いかなるヘッドホンで聴いても、存在感のある音場を再現してくれるだろう。



## それは、あなたに相応しい1台か？

超弩級ハイエンド機並みの音と機能を現実的なサイズで手に入れたい年季の入ったオーディオマニアであろうと、あるいはオーディオコンポからステップアップしたい音楽愛好家であろうと、F-07はどちらにとっても相応しい存在である。世界で最も素晴らしいコンポで毎日音楽を聴くという特権を手に入れたとして、一日中、たっぷり音楽を聴いたあとにF-07を眺めながらご自問する。「突き詰めれば、こいつとターンテーブル、それに素晴らしいスピーカーがあれば満足か？」答えはイエスである。

オーディオマニアの誰もが自分のシステムに特別な個性を求めており、確かにESOTERICのフラッグシップ機はこれ以上のパフォーマンスを発揮するだろう。だが、私はそれ以上にバランスというものを大切にしたい。

例えるなら、マセラティより新しいマツダ・ロードスターをチョイスするようなもの。もしあなたも同じ意見だからと言ってこのF-07が最適解とは限らないが、F-07が持つバランス感覚といった点では、私は一体型オーディオのSimaudio ACE(3,400ドル)も同様に大好きである。組み合わせる全てのコンポーネントが真価を発揮することが求められるハイエンドオーディオの世界において、F-07は全ての点においてより多くのものを提供してくれる。実際、私はこの試聴機を自腹で購入したほどだ。



F-07について最後に述べることであれば、それはESOTERICが持つ伝統であろう。あのティアックを親会社とし、その製造品質は素晴らしく、また、世界規模のディーラー網とサポート体制が構築されており、F-07を買ったら余計な心配は不要でその素晴らしい音楽を長年にわたって楽しむことができるはずだ。

私はこのアンプが2017年Exceptional Value Awards受賞モデルの一つとしてだけでなく、TONE Audio誌の全ての価値観を体現していることを喜ばしいと思う。

ESOTERIC F-07 インテグレートッドアンプ  
\$7,500

OP-DAC-1 DACボード (別売)  
\$1,200

メーカー  
ESOTERIC

URL  
[www.esoteric-usa.com](http://www.esoteric-usa.com)

#### 試聴機材

##### ターンテーブル

Soulines Kubrick HDX  
Rega RB1000  
Gold Note Macchiavelli

##### スピーカー

GamuT RSSi  
Focal Sopra N°3  
Quad 2812  
Graham audio LS5/9

##### ケーブル

Cardas Clear

##### 電源

Equi=Core 1200

## ワールドクラスの高音質。

クラスA インテグレートッドアンプ

**F-03A** 希望小売価格 980,000円(税抜)



The absolute sound  
2017 Product of the Year Award 受賞



The absolute sound  
Editors' Choice Awards 2018 受賞



F Series インテグレートッドアンプ



**Grandioso F1** 希望小売価格 2,300,000円(税抜)



**F-05** 希望小売価格 720,000円(税抜)



仏 Haute Fidélité  
Haute Fidélité Référence (最高賞)



**F-07** 希望小売価格 560,000円(税抜)



TONE Audio  
2017 Product of the Year 受賞  
インテグレートッドアンプ部門



オプションボード (Fシリーズ共通)



**OP-ESLA1**

希望小売価格 50,000円(税抜)

ESOTERIC独自の電流伝送「ES-LINK Analog」入力ボード



**OP-DAC1**

希望小売価格 90,000円(税抜)

DSD11.2MHz PCM384kHz/32bit対応DACボード